

# 高さ10メートルロープ使い救助

## 浜北市消防本部の4隊員

### 全国大会へ気合十分

浜北市消防本部の救助隊員四人が、二十八日に仙台市で開かれる全国消防救助技術大会の「ロープブリッジ救出」部門への出場に向けて厳しい訓練に励んでいる。同大会への同市消防本部の出場は七度目。同じ部門(過去二度出場)では平成十年に全国2位という輝かしい実績を持つ。隊員は訓練を通して「全力でやってくる。(十年度の)2位に近づけるよう頑張りたい」と気合を入れている。

出場するのは、袴田雄二さん(二七)、二橋乾



①全国大会へ出場する(左から)袴田さん、橋本さん、二橋さん、鈴木さんの4人②全国上位を目指して厳しい訓練を重ねる。いずれも浜北市消防本部



さん(二七)、橋本祐樹さん(二五)、鈴木数馬さん(二〇)の四隊員。ロープブリッジ救出は高さ約

十メートルの位置で、二十メートル離れた塔の上にいる人をロープを伝って救助するという部門。速さと

ロープなどの扱い、徹底した安全対策が求められる。四人は六月下旬の県

大会で3位に入り、七月末の関東大会で県内ではトップの7位に食い込んで全国切符を手に入れた。鈴木さんを除く三人は過去の関東大会出場経験者だが、全国は全員が初めて。「スピードアップを図りたい」と、全国上位レベルの45秒台での「救出完了」を目指して本番さながらの訓練を続けている。

救助隊歴五年目という年長格の袴田さんは「意思の疎通もでき、気力も充実してきた」と話し、全国大会での活躍を誓った。